



二葉だより

<http://www.sumida.ed.jp/futabasho/>

平成28年10月31日

No. 8

墨田区立二葉小学校

「この町、好きだなあ」

校長 水谷 光一

先日、「墨田区内消防団 合同点検」が墨田5丁目運動広場で行われました。消防団の方が、規律正しく、素早く行動されているのを拝見し、日頃から訓練されていることを感じました。消防団の方々には、日頃は消防ではなく、それぞれ別の仕事をお持ちです。地元へ愛着をもっていらっしゃるからこそ、忙しい中でも訓練をし、このように行動することができるのだらうと感心させられました。

さて、子供たちは自分たちの住む町にどのように愛着をもっていくのでしょうか。「いろいろな施設がある。」「この町にしかないものがある。」「街並みに歴史を感じる。」「親切な人が多い。」「昔から続く伝統がある。」「偉大な方が住んでいた。」など、日常生活の中で一人一人が感じる事柄から、地域に対するよさの印象をつくっていくのだと考えられます。そして、そのよい印象から、「この町が好きだなあ。」と好意的な感情を抱くのだと思います。それは、自分と町との情緒的なつながりをつくり、愛着につながっていくのでしょうか。こう考えると、墨田区、そして二葉小学校のある地域はまさに、愛着感を抱ける地域です。

地域とのつながりを深めていくためにも、子供たちが実際に祭りなどの行事に参加するなどし、住んでいる方との関わりを多くしていくことも大事だと思います。学校では「生活科」や「総合的な学習の時間」に実際に町に出て、町について調べたりインタビューをしたりして、町のよさや町に住む人の素敵さを感じるようにしています。さらに、住んでいる町を大事にしたいと感じ、自分たちも何か役に立ちたいと考え、行動できるようにしていきます。消防団に入ろうとする子が出てくるかもしれません。

11月22日（火）には、いよいよ『すみだ北斎美術館』がオープンします。オープニングセレモニーではお祝いとして、『すみだ北斎美術館』の前で本校の6年生が「二葉ばやし」を演奏する予定です。開館の時に二葉ばやしを演奏したことを誇りに思い、さらには、自分たちの町への愛着と誇りにつながることを期待しています。

また、11月27日は学校の開校111周年の記念日です。11月26日（土）には二葉まつりを行います。これは子供たちが二葉小学校を誇りに思えるような、何十年も続く伝統の行事です。学校や自分たちの住んでいる町を誇りに思い、愛着心をもつ子供たちに育てたいと思います。

11月はふれあい月間、あいさつ月間です。友達のよいところを見付け、相手の気持ちを考えて行動することでお互いに気持ちのよい生活が送れます。また、相手にとって気持ちのよいあいさつをすることで、友達とよい関係作りができます。どの子もあいさつはしているのですが、声あまり出ず、気持ちが伝わらないことがあります。気持ちが相手に伝わるようなあいさつが学校中に響いてほしいです。